

平成 25 年第 5 回加西市教育委員会会議録

1. 開会日時 平成 25 年 5 月 22 日（水） 9 時 00 分
2. 閉会日時 同 日 11 時 35 分
3. 開催場所 加西市役所 5 階大会議室
4. 出席委員 委 員 長 荒 木 貴 子
委 員 市 場 かおり
委 員 渡 邊 隆 信
委 員 内 藤 堯 雄
教 育 長 永 田 岳 巳
5. 委員及び傍聴人を除き、会場に出席した者の氏名
教育次長 後 藤 倫 明
市参事兼こども未来課長 立 花 聡
教育総務課長 中 倉 建 男
学校教育課長 小 林 剛
文化スポーツ課長 深 江 克 尚
総合教育センター所長 柿 本 博 司
図書館長 柴 田 健 壱
こども未来課主幹 伊 藤 勝
教育総務課課長補佐 高 井 聡 子
6. 付議事項
議案第 2 0 号 加西市学校給食センター運営審議会委員の委嘱について
議案第 2 1 号 加西市教育委員会評価委員会委員の委嘱について
議案第 2 2 号 加西市学校評議員の委嘱について
議案第 2 3 号 加西市結核対策委員会委員の委嘱について
議案第 2 4 号 加西市子ども・子育て会議条例の制定について
7. 議題となった動議を提出した者の氏名
なし
8. 質問及び討議の内容
議案第 2 0 号 加西市学校給食センター運営審議会委員の委嘱について

議案第20号 加西市学校給食センター運営審議会委員の委嘱について、教育総務課長より、加西市学校給食センターの設置及び運営に関する条例第6条第5項の規定により、平成25年5月1日から1年間を任期として4名を加西市学校給食センター運営審議会の4号委員に委嘱することについて説明する。

教育委員より、事故の無いよう安全に運営していただきたいと意見がある。

教育委員より、学校役員に委嘱するということであるが、任期についてはPTA役員に準じているのかとの質問があり、教育総務課長より、4月下旬に各学校のPTA総会で会長が決定してからということで、5月1日から1年となっていると回答する。

以上をもって原案どおり承認される。

議案第21号 加西市教育委員会評価委員会委員の委嘱について

議案第21号 加西市教育委員会評価委員会委員の委嘱について、教育総務課長より、加西市教育委員会評価委員会設置要綱第3条の規定により、兵庫教育大学教授2名について、平成25年6月1日から平成27年5月31日までを任期として加西市教育委員会評価委員会委員を委嘱したいと説明し、原案どおり承認される。

議案第22号 加西市学校評議員の委嘱について

議案第22号 加西市学校評議員の委嘱について、学校教育課長より、加西市学校評議員設置要綱第5条の規定により、各校5名から8名について、平成25年4月1日から平成26年3月31日までを任期として加西市学校評議員を委嘱するものであると説明する。学校評議員は、教育に関する理解及び識見を有する者で学校が地域社会との連携支援を深めるための組織の代表者等で、校長の推薦を受けて教育委員会が委嘱するものであると説明する。

教育委員より、地域で適切に選任されているが、多忙な方であるので柔軟に対応していただきたいと意見がある。

教育委員より、評議委員に意見をうかがう機会は年間何回程度あるのかとの質問があり、学校教育課長より、オープンスクールや参観日等で年間3回は確実にあり、それ以外に日常的に出会う機会も多くあると説明する。

教育委員より、年3回程度評議会を開催するということであるが、できるだけ形式的な会議に終わることなく、実質的に良い意見をいただき、改善に活かしていけるような会議にしてほしいと要望がある。

以上をもって原案どおり承認される。

議案第23号 加西市結核対策委員会委員の委嘱について

議案第23号 加西市結核対策委員会委員の委嘱について、学校教育課長より、加西市立

小学校・中学校児童生徒の結核対策委員会要綱第3条の規定により、平成25年4月1日から平成26年3月31日までを任期として加西市結核対策委員会委員に8名を委嘱するものであると説明する。6月に結核対策委員会を開催する予定で、児童生徒からの問診を審議し、その結果によって医療機関で検査いただき、その結果を掌握するという流れであると述べる。

教育委員より、児童生徒からの問診票は確実に回収できているかとの質問があり、学校教育課長より、全て回収していると回答する。

教育委員より、保菌者が発症する例はあるかとの質問があり、学校教育課長より、加東健康福祉事務所管内では発症例はないと回答する。

教育委員より、発症する例が最近にないということか、過去からないということか、また、近隣ではあるのかとの質問があり、学校教育課長より、過去からないこと、近隣については情報が入ってこないが加東健康福祉事務所は把握していると回答する。

以上をもって原案どおり承認される。

議案第24号 加西市子ども・子育て会議条例の制定について

議案第24号 加西市子ども・子育て会議条例の制定について、こども未来課主幹より、子ども・子育て支援法第77条第1項の規定に基づく審議会として、「加西市子ども・子育て会議」を設置するための条例を制定することについて委員会の議決を求めるものであると述べる。子ども・子育て会議は昨年8月に国の法律で公布されたもので、国と県と地方自治体との子育てに関する役割や責任を明記して、保育や教育を一体的にとらまえて幼児教育、保育の質を高め、地方の実情に合わせて市が独自に地域と調整しながら計画をし、サービスを進めていこうという法律の主旨であり、市町ごとに審議会を設置するよう義務付けられているため、加西市では会議条例を制定しようとするものであると説明する。

教育委員より、子ども・子育て支援法とあるが、国からの支援に関して明記されているということがあるのかとの質問があり、こども未来課主幹より、国では子育ての方針や指針を定め、それに基づき市町が実情にあわせたサービスを考えていくという内容であり、国からの支援は、財源を措置するというもので、平成27年度からの消費税アップ分を子育ての財源にあてるというものであると回答する。教育委員より、従来は国の支援は具体的な内容に対してであったが、地方のやり方の内容に関しての支援ということも含まれるかとの質問があり、こども未来課主幹より、個々のものを含めて、子育て全般に関して総合的に支援をするというもので、法律の中には子育て支援に関わる事業が具体的に記載されており、保育事業、ファミリーサポート事業、児童手当等、こども未来課のみでなく市長部局所管のものも総合的に領域をカバーするものであると回答する。

教育委員より、今後の流れとして、条例を制定して、委員を委嘱し、委員に考えていただいたものを国に申告するのかとの質問があり、こども未来課主幹より、今年度に会議を立ち上げ、アンケート調査を実施して、課題の洗い出しや今後の対応を考え、平成27年度から5か年の事業計画を作成する予定で、その会議の中でアンケートの内容や事業計画を審議し、

平成26年の秋にはその計画をまとめて県に報告することを考えていると説明する。

教育委員より、条例に設置の目的を記入する必要があるのではないか、所掌事務として既存の各部局で行っていた施策との関係はどのようなものになるのかとの質問があり、こども未来課主幹より、条例については第1条に具体的な目的として「子ども・子育て支援に関する施策を調査審議するため、」を加入するという案を示し、他の施策と整合させていくものであり、この会議が既存の事業を妨げるものでなく、個々の事業を推進していく位置づけとしてとらえ、特に、幼稚園と保育所の一体化についてはさらに推進していきたい、また、5万人都市再生を目指して取り組んでいる件も加西市の特色として反映させながら計画を進めたいと回答する。

教育委員より、昨年8月に支援法が公布されて、今、条例を制定する理由と、他市の状況について質問があり、こども未来課主幹より、国では国の会議を本年4月に立ち上げており、その動きに合わせて市が後追いをしているということ、兵庫県下では姫路市、神戸市、尼崎市等が3月に条例の制定をしており、海岸部の都市が6月に予定をし、後の自治体は遅くとも9月に制定の予定であると説明する。

教育委員より、アンケートの対象者と、どこで審議をするのかという質問があり、こども未来課主幹より、現状の保育や教育を受けている保護者を中心に考えているが、国が作る設問項目をみながら考えたい、また、審議は、保護者や学識経験者等15名で構成する会議で素案を検討して計画を承認する形で進めたいと回答する。

教育委員より、予算は別枠にあるのかとの質問があり、市参事兼こども未来課長より、国が消費税相当分7千億円程度予定しているが、事業計画に基づいた個別対応となるため、現状ではどの程度になるかは将来的な課題になると回答する。

教育委員より、対象年齢は就学前の子どもに限定かとの質問があり、市参事兼こども未来課長より、就学前の子ども限定ではなく子育て世代が対象であると回答する。

以上をもって原案を一部修正して承認される。

9. 議決事項

議案第20号 加西市学校給食センター運営審議会委員の委嘱について

原案どおり可決

議案第21号 加西市教育委員会評価委員会委員の委嘱について

原案どおり可決

議案第22号 加西市学校評議員の委嘱について

原案どおり可決

議案第23号 加西市結核対策委員会委員の委嘱について

原案どおり可決

議案第24号 加西市子ども・子育て会議条例の制定について

一部修正のうえ可決

10. 報告事項

(1) 教育長から

教育長より、5月17日の臨時議会が開催され、泉中学校・善防中学校耐震補強工事と新学校給食センターの議決が行われたことを報告する。今後の予定として、6月中旬から7月の初めには富田小学校、西在田小学校の地元説明を実施したいと説明する。

次に、昨日、中学校の修学旅行に4校が出発し、好天にも恵まれ事故なく過ごしていると聞いており、無事に帰校することを願っていると報告する。

(2) 市参事兼子ども未来課長の報告

市参事兼子ども未来課長より、泉第三保育所避難訓練について、泉第三保育所は2012年度版加西市防災マップにも記載されている被害想定区域であるため、子どもたちの安全を確保するため、5月15日に実施したもので、6月20日の参観日には今回の避難訓練の結果を持ち寄り、改めて警報の出た段階での対応を打合せ、子どもたちの安全確保を図っていききたいと報告をする。

(3) 教育総務課長の報告

教育総務課長より、教育施設耐震化事業等進捗状況について、宇仁小学校地震改築工事と屋外環境整備工事は、昨日施設訪問で確認のとおり順調に進んでおり、(仮称)加西市立北条学校給食センター建設工事、泉中・善防中学校校舎耐震補強工事は5月17日の臨時議会で議決され、準備にかかっていると報告する。

続いて、平成24年度加西市教育委員会評価について、各課長から内容の説明を行い、教育委員に評価をまとめていただき、6月の定例教育委員会で評価の議決を受け、7月中旬に評価委員会を開催、9月に議会に報告する予定であると説明する。

次に、情報公開について、1件の情報公開請求があり、公開と一部非公開を行ったことを報告する。

(4) 学校教育課長の報告

学校教育課長より、インフルエンザについて、5月になっても中学生で感染者がある状況で、インフルエンザ対策や熱中症対策について学校に注意喚起していると報告する。

次に、中学校の修学旅行について、5月21日から4中学校連合で修学旅行に出かけており、参加生徒数が438名、欠席が18名であったと報告する。また、行き先については、今年度で東京方面が終了し、来年度から九州方面に変更になると説明する。

続いて、4月24日に全国学力状況調査の加西市内全小、中学校での悉皆調査が無事終了したことを報告する。結果をどう活用していくのかという観点から、分析、考察しながら市内の状況の把握をしたいと説明する。

また、中学校では、今年度も6月3日から7日までトライやる・ウィークを実施し、130余りの事業所に協力いただくこととなっており、「トライやる・ウィーク実施中」という旗を掲示して啓発をすることを報告する。さらに、小学校では、6月から自然学校があり、北条小学校以外は中学校区で連合を組んで実施し、行先は県立南但馬自然学校となっていると報告する。

(5) 文化スポーツ課長の報告

文化スポーツ課長より、平成24年度社会教育活動のあゆみについて、文化スポーツ課所管分のみでなく、図書館や総合教育センター所管分も記載しており、教育委員会評価にも活用いただきたいと報告する。

次に、アクアスカさいの芝生化について、今週日曜日に、残り半面の芝生3万枚を実行委員会とボランティアの方とともに張る計画であることを報告する。

(6) 総合教育センター所長の報告

総合教育センター所長より、平成25年度開設研修講座について、19コース、42講座を開設することに確定し、5月28日から11月下旬にかけて実施していくことを報告する。

次に、「家庭学習ハンドブック」作成について、家庭の理解と協力を得ながら、発達段階に応じた系統性のある家庭学習によって、子ども達自身が主体的に学習する力をつけ、それによって確かな学力を確立できるようにという主旨で作成するもので、学校で活用しやすいものになるよう、教務担当の先生方の協力を得て、5月と6月に作成委員会を開催し、9月には配布したいと報告する。

続いて、インターネット等トラブル防止のための出前研修について、小・中・特別支援学

校に出前講座を実施したもので、内容として、加西市の現状と問題行動の傾向、LINEとその機能、今後の学校での指導について研修をしたが、先生方にとって興味深い内容であり、今の状況を知ってもらうことで有益な研修会であったと報告する。今後も新しい情報を発信しながら、保護者や子どもへの啓発も継続したい、また、指導のしかたについて総合教育センターが中心となり学校に提示をしていきたいと述べる。

最後に、「子どもを伸ばす教養講座」について、NPO法人生涯学習サポート兵庫の榎本氏を講師に招き、6月1日に「子供の集団ゲーム指導」と題して子ども達にゲームを通して考える力やコミュニケーションを高めるといった手法を学ぼうという内容で、健全育成や子ども会の関係者、PTA役員に案内をしていると報告する。

(7) 図書館長の報告

図書館長より、緑化ボランティア参加者募集について、テラスの花の植え替えや花の世話を手伝っていただける方を募集しているもので、昨年から実施をしているが、昨年は7名の参加者があり、図書館になじんでいただくことも目的のひとつとし、市民の方に図書館を知っていただく機会になればと考えていると報告する。

11. 協議事項

報告事項の中から

○加西市子ども・子育て会議について

教育委員より、加西市子ども・子育て会議がこれから始まるにあたっての問題点はあるかとの質問があり、こども未来課主幹より、これから計画を立てていくうえでの問題点は今のところ特にないが、様々な利害関係者が入るためにその調整という点で慎重に行わなければならないと回答する。教育委員より、利用される方が不利になる可能性はないかとの質問があり、市参事兼こども未来課長より、その可能性は少ないと考えており、市民ニーズの調査を行って市民の需要の掘り起しを図り、どのような施策として反映できるかの検討をすることが会議の目的であり、希望が多く出てくると考えられ、いかに実現していくかが今後の課題で、幼保の統廃合も含めて検討していく必要があると考えていると説明する。

○緑化ボランティア参加者募集について

教育委員より、緑化ボランティア参加者募集について、平日の実施であるが、土日は難しいのかとの質問があり、図書館長より、土日はテラスを使う方が多いので平日にしていると説明する。

○「家庭学習ハンドブック」について

教育委員より、「家庭学習ハンドブック」のチェック表について、1学年のうちに3回行うのか、子どもが自主的にチェックするのかなどの質問があり、総合教育センター所長より、チェック表は作成委員会で検討している、小学校の低学年では保護者とともにチェックすることになると説明する。教育委員より、保護者の欄がないので、保護者の目が入る部分を設けてはどうかとの意見がある。

○泉第3保育所避難訓練について

教育委員より、泉第3保育所避難訓練の実施について、避難想定区域に指定されており、訓練は大事であると思われ、保護者にも注意喚起して職員の意識も大切であると意見がある。

12. 教育委員の提案

教育委員より、図書館の利用者について、市外の利用者が多く、個人貸出し数で3割近くが市外の方になっており、宣伝をしなくても来てくれる人が多くあるので、加西市をPRする良い機会になっているのではないかと意見がある。図書館長より、播磨地域の方であればカードが作れるようにしており、近隣からの利用者も多く、チラシ等を置いて利用いただけるようにしていると説明する。

教育委員より、トライやる・ウィークについて、本年初めて生徒を受け入れることとなり準備態勢を整えているところであるが、大切な1週間となると思うので主旨を理解して何かひとつでも持って帰ってもらえるよう対応したいと考えており、また、大変な中でも楽しみに感じていると意見がある。また、新卒者の就職面接を行ったところ、無断欠席やエントリーなしに来訪されるといった事例があり、常識的なことが普通に出来ない人がいると感じ、トライやる・ウィークでも指導はしていきたいと述べる。

教育委員より、各学校でキャリア教育という言葉がでるようになり、小学校1年生からどのような能力をつけていくか、小学校から計画的なキャリア教育を実施していく視点が大切な時代ではないかと意見がある。

13. 今後の予定について

- | | | | |
|-------------|----------|--------|----------|
| ・第6回定例教育委員会 | 6月25日(火) | 13:30～ | 総合教育センター |
| ・第7回定例教育委員会 | 7月24日(水) | 13:30～ | 総合教育センター |

この会議録は、事務局職員が作成したものであるが、真正であることを認めここに署名する。

平成 25 年 5 月 22 日

出席委員

(出席委員署名)